

景況 10期連続プラス

県内景況天気図

※景況天気は売り上げDI・採算水準DI・資金繰りDIの平均値

業種	区分	2014年			2015年				
		4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 今回実績	10~12月期 今回見通し	
全業種(新報-悪化)		12.8	11.3	10.2	13.1	17.1	12.8	14.8	16.7
製造業		6.1	▲9.6	1.9	3.9	7.7	10.3	18.2	18.2
建設業		14.0	1.9	5.9	14.5	11.3	▲1.0	5.6	4.7
卸売業		9.2	▲21.7	17.1	19.7	26.4	23.3	20.6	26.2
小売業		6.2	▲17.5	17.1	19.7	29.6	27.4	17.8	24.8
運輸業		28.6	19.2	20.2	5.2	17.2	2.2	7.8	11.8
情報通信業		▲7.0	▲1.8	▲11.8	0.0	3.5	7.0	1.8	1.8
サービス業		16.7	15.6	6.1	13.3	10.9	11.6	5.9	17.8
飲食店・宿泊業		23.6	49.3	26.4	31.8	36.1	25.0	50.0	27.8

☀️ 快晴…30以上~100以下 ☁️ 晴…10以上~30未満 ☁️ 薄曇り…▲5以上~10未満
☁️ 曇り…▲30以上~▲5未満 🌧️ 雨…▲100以上~▲30未満 (単位:%ポイント)

沖縄公庫7~9月観光好調

沖縄振興開発金融公庫(譜久山當則理事長)が14日に発表した2015年7~9月期の県内企業景況調査によると、前年同期と比べて景況が「良い」と答え

た企業の割合を示す業況判断指数(DI)はプラス14・9となり、10期連続のプラスとなった。前年同期は小売業などで消費税増税に伴う反動減から回復の兆し

が見えてきた時期だったため、前期(4~6月期)調査よりも良い超幅は2・1ポイント縮小したものの、好調な観光需要などを背景に景況判断は2期続けて「拡大している」とした。

景況天気の指数は、前期比2・3ポイント減のプラス14・8。10期連続で「晴れ」となった。一方、雇用判断DIは引き続き不足超幅が過去最高水準だった。

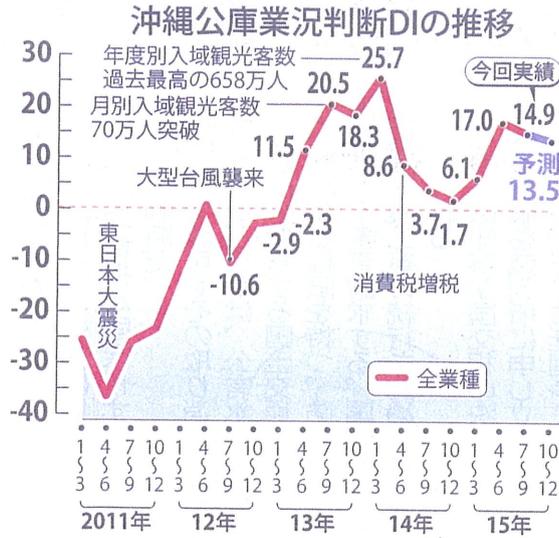
業況DIの業種別では、製造業は食料品で原材料高に伴う商品への価格転嫁が進み10・5ポイント増のプラス16・7。飲食店・宿泊業は、外国人を中心とした観光客の増加傾向から8・3ポイント増のプラス58・3だった。

雇用判断DIの不足超は17期連続。10~12月期の見通しは1995年1~3月の調査開始以来最高のプラス36・5という予測で、全産業で人手不足が課題になっている。

調査は8月上旬~10月上旬に実施した。調査対象は資本金1千万円以上、従業員20人以上の企業。368社中、348社(回答率94・6%)が回答した。

景況初の10期連続プラス

沖縄公庫7～9月 観光好調拡大続く



沖縄振興開発金融公庫（福山當則理事長）が14日発表した7～9月期の県内企業景況調査は、前年同期に比べ景況が「好転した」から「悪化した」と答えた企業の割合を差し引いた業況判断DIが14.9で、1995年の調査開始以降、最長の10期連続プラスとなった。

前期から2.1ポイント低下したものの、好調な観光関連や需要の底堅い建設関連を中心に幅広い業種に好況感が広がっている。

来期（10～12月）は13.5で高水準を見通している。沖縄公庫は「人手不足の影響はあるが、好調な観光需要を背景に拡大傾向が続く見込み」としている。

観光客数の増加で売り上げが伸び、飲食店・宿泊業58.3、小売業23.3、卸売業11.9、サービス業8.9、運輸業8.8と幅広い業種でプラスとなった。公共、民間とも建設需要が底堅く、建設業は8.5、製造業が16.7だった。情報通信業は広告収入の減少でマイナス5.3だった。

雇用判断DIは29.6と1.5ポイント上昇しており、人手不足感が強まっている。17期連続でプラスとなった。

（注）10～12月の実績は13.5、17期連続でプラスとなった。